※令和４年度以降入学生用

学校番号	１０１３

令和８年度　芸術〔音楽〕

教科	芸術	科目	音楽Ⅰ	単位数	１単位	年次	１年後期
使用教科書	改訂版 ON！１（音楽之友社）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・「歌うこと」「楽器を演奏すること」「音楽をつくること」「音楽を聴くこと」の４つの分野を学習します。
・音楽がどのように形づくられ、それをどのように感じて表すのかについて、他者とともに音楽を分かち合いながら学習を進めていきます。
・歴史的、文化的背景などの広い視野で音楽を捉えることで、音楽文化の理解を一層深めていきます。
・実技テストは授業中に発表形式で行います。お互いに聴き合うことで他者の表現を知り、刺激を受け、受け止めることで感性を広げていきましょう。

２　学習の到達目標

音楽の幅広い活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の音や音楽、音楽文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することをめざす。
（１）曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わり及び音楽の多様性について理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付けるようにする。
（２）自己のイメージをもって音楽表現を創意工夫することや、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴くことができるようにする。
（３）主体的・協働的に音楽の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、音楽文化に親しみ、音楽によって生活や社会を明るく豊かなものにしていく態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・曲想と音楽の構造や文化的・歴史的背景などとの関わりおよび音楽の多様性について理解している。（知識） ・創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な技能を身に付け、歌唱、器楽、創作で表している。（技能）	音楽を形づくっている要素や要素同士の関連を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように表すかについて表現意図をもったり、音楽を評価しながらよさや美しさを自ら味わって聴いたりしている。	主体的・協働的に表現及び鑑賞の学習に取り組もうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
後期中間	パートの特徴をとらえたアンサンブル	【歌唱】 ・A Whole New World ・With You Smile	a:曲想や音楽の構造と歌詞との関わりや、二重唱による表現の特徴について理解している。(知識) a: :曲にふさわしい発声、言葉の発音、身体の使い方や、他者との調和を意識して歌う技能を身に付けている。(技能) b:パートの役割や音の重なりを知覚し、それらの働きを感受しながら、歌詞との関わりについて考え、自己のイメージをもってどのように歌うかについて表現意図をもっている。 c:音楽を形づくっている要素と歌詞との関わりや二重唱による表現の特徴を理解し、イメージをもって、主体的・協働的に歌唱の学習活動に取り組もうとしている。	ワーク シート 演奏発表	ワーク シート	観察 ワーク シート
	音を聴きあい、グループで合奏に取り組もう	【器楽】ハンドベル ・星に願いを	a: 曲想と楽器の音色や奏法との関わりについて理解している。(知識) a:曲想と音色の関わりや、他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。(技能) b:音色、リズム、速度、旋律、テクスチュア、強弱を知覚し、それらの働きを感受しながら、知覚したことと感受したこととの関わりについて考え、どのように演奏するかについて表現意図をもっている。 c:曲想と楽器の音色との関わりについて関心をもち、他者との調和を意識して、創意工夫して主体的・協働的に学習に取り組もうとしている。	ワーク シート 演奏発表	ワーク シート	観察 ワーク シート

※令和４年度以降入学生用

後期期末	音の重なり、役割を理解し、グループで合奏に取り組もう	【器楽】ギター ・大きな古時計	a: 曲想と音楽の構造、アンサンブルによる表現の特徴を理解している。(知識) a:パートにふさわしい奏法や、音楽の構成、他のパートの音を聴きながら他者との調和を意識して演奏する技能を身に付けている。(技能) b:パートに応じた奏法、音楽の構成、アンサンブルに関わる知識や技能を得たり意識したりして、それらの関わりについて考え、自己のイメージをもって器楽表現を創意工夫している。 c:パートの役割や音楽の構成について理解したり、ふさわしい奏法、他者との調和を意識して、創意工夫して主体的・協働的にアンサンブルで表現し、よりよい表現を追求する学習に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏発表	ワークシート	観察 ワークシート
	イメージを旋律に表そう	【創作】 詩に音をつけて、16小節の曲を創作	a: 音型や構成の特徴について、表したいイメージと関わらせて理解している。(知識) a 反復、変化、対照などの手法を活用して音楽をつくる技能を身に付けている。(技能) b:旋律や構成、手法に関わる知識や技能を得たり意識したりして、それらの関わりについて考え、自己のイメージをもって創作表現を創意工夫している。 c: 音型の特徴や構成の特徴と表したいイメージとの関わりについて理解したり、手法を意識し、創意工夫して主体的・協働的に創作表現する学習に取り組もうとしている。	ワークシート 発表	ワークシート プレゼンテーション	観察 ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	様々な伝統に親しもう	【歌唱・器楽】 ・三線	a: 曲想と文化的・歴史的背景との関わりや、楽器の音色と奏法の関わりについて理解している。（知識） a:曲にふさわしい発声、音色、身体の使い方などの技能を身に付けている。（技能） b:奏法や、三線や沖縄音楽に関わる知識や技能を得たり意識したりして、それらの関わりについて考え、自己のイメージをもって表現を創意工夫している。 c:曲想と楽器の音色、文化的・歴史的背景との関わりについて関心をもち、他者との調和を意識して、楽しみながら主体的・協働的に表現する学習に取り組もうとしている。	ワークシート 演奏発表	ワークシート	観察 ワークシート
		【鑑賞】 ・日本の民謡、 ・アジアの様々な音楽 ・日本の伝統文化（雅楽、能、狂言、歌舞伎、文楽）	a: 様々な国の音楽の特徴と文化的・歴史的背景、我が国や郷土の伝統音楽の種類とそれぞれの特徴について理解している。（知識） b:曲や演奏に対する評価とその根拠、音楽表現の共通性や固有性について考え、音楽のよさや美しさを自ら味わって聴いている。 c: 我が国やアジア諸国の音楽や楽器、文化の特徴に関心をもち、音楽表現の共通性や固有性について考えながら主体的に鑑賞の学習活動に取り組もうとしている。	ワークシート	鑑賞の記録	鑑賞の記録

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度